

JENESYS^{2.0}

第21回「日韓高校生交流キャンプ」開催報告

当協会および韓日経済協会では、『第21回日韓高校生交流キャンプ』を7月27日～7月31日の4泊5日間、川越にて開催しました。

両協会では日韓青少年交流事業として2004年1月から日韓高校生交流キャンプを始めて、今回で21回目、延べ1,978人の交流実績となりました。なお、キャンプ参加者はキャンプ後も交流を続け、2006年から自主的にOB/OG会を結成して、更なる交流と理解を深め合う活動を続けています。

このキャンプは、将来の両国経済界を担うであろう日韓の高校生を対象にしています。

各チーム10名の日韓混成チームを編成し、チーム毎に日本経済・文化の現場を体験し、新たなビジネス案を企画、(模擬)投資を誘致するための事業ブースを作りました。この現場体験や協働作業を通じて密度の濃い交流を促進することがこのキャンプの狙いであり、最大の特徴です。このようなチーム活動以外にも多彩な交流プログラムを行います。

今回は日本側から39校50名、韓国側から49校50名、合わせて88校100名の日韓高校生が参加しました。なお、キャンプOB/OGの方々も運営ボランティアとして参加しました。

- 会 場：川越プリンスホテル
(埼玉県川越市新富町 1-22)
- 期 間：2014年7月27日(日)～7月31日(木)
- 参 加 者：高校生100名(日本側50名、韓国側50名)
- 事業形態：JENESYS2.0 [公益財団法人 日韓文化交流基金 委託事業]
- 主 催：一般社団法人 日韓経済協会、社団法人 韓日経済協会
- 後 援：外務省、国土交通省、駐日本国大韓民国大使館、
韓国中小企業庁、韓国創業振興院
- 協 力：西武グループ
- 交流プログラム開発・運営：IVITT 研究所 株式会社

第21回「日韓高校生交流キャンプ」プログラム

時間	7.27(日)	7.28(月)	7.29(火)	7.30(水)	7.31(木)			
07:00		起床及び洗顔	起床及び洗顔	起床及び洗顔	起床及び洗顔			
08:00		朝食				朝食	朝食	
09:00	韓国学生集合 9:00 金浦空港 →出国手続き	日本経済 現場体験 & 昼食	事業ブース作り 事前準備	事業ブース体験 及び模擬投資実施	日本文化体験 & 昼食			
10:00						韓国学生出国 金浦→羽田 JL5235	昼食	韓国学生解散 韓国学生 羽田空港へ移動
11:00								
12:00	日本学生集合	懇談会	表彰及び修了式	韓国学生帰国 羽田→金浦 JL093 →韓国学生解散				
13:00					個別記念写真撮影 友達に一言！ 【JKSFF/KJSFF紹介】			
14:00						写真スライドショー 【アンケート】		
15:00	オリエンテーション	夕食	夕食	Finale Festival				
16:00						事業案の決定	事業ブース作り Part 2	両国伝統遊び
17:00	夕食	ゴールデンベル (クイズ大会)	休憩及び就寝	休憩及び就寝				
18:00	友達作りプログラム &事業アイテム討議	休憩及び就寝	休憩及び就寝	休憩及び就寝	休憩及び就寝			
19:00	休憩及び就寝	休憩及び就寝	休憩及び就寝	休憩及び就寝	休憩及び就寝			
20:00								
21:00								

初日、川越の会場に参加者が集まり、「オリエンテーション」で5日間のキャンプがスタートしました。続いて行われた「友達づくり」プログラムでは、チーム毎に自己紹介を行ったり、用意してきた写真を見せ合ったりしながら、日本語・韓国語・英語またはボディーランゲージ交じりでお互いに何とか意思疎通を図ろうとする姿が見られました。



2日目、朝からチームの事業カテゴリー別に指定された各施設へ移動し「日本経済現場体験」を行いました。各施設では、該当する事業に関する講話や職員インタビュー、また現場での仕事を直接体験していただくことで、新たな事業を企画するための様々

な情報を収集しました。

会場帰着後は、日本に進出している韓国企業の方より「日韓両国の望ましい未来の関係」について講話がありました。

夕食後、チーム作業を一休みして、日韓でペアを組んで挑む、「**ゴールデンベル**」という勝抜きクイズ形式の交流プログラムを行いました。チーム以外の参加者との交流を深める機会にもなり、大いに盛り上がりました。

3日目、終日キャンプ会場内で事業ブース作りの作業を行いました。事業戦略を練り、翌日の事業ブース体験&模擬投資に向けて広報物の作成、コマーシャル動画の撮影と編集、小物づくり等、熱気を帯びた協働作業が続きました。チームで一つの結果を出すべくアイデア集約や意見調整等、限られた時間を精一杯活用しながら討議と作業に没頭していました。



4日目、いよいよ「**事業ブース体験&模擬投資実施**」の日です。日韓経済協会 是永 和夫専務理事、韓日経済協会 李 鐘允常勤副会長をはじめ、たくさんの来賓の方々やキャンプのOB/OGが事業ブースを体験し模擬投資を行いました。



模擬投資の結果、**最優秀賞**は「**Somebody Help You**」と題した外国人向けの切符売り場「Help Ticket」、外国人の観光客向けのアプリケーション「Eki」を企画したチームに決まりました。



創業振興院長特別賞は、「**Pit-a-paTRIP**」と題した一般のユーザーやガイドがアップロードした旅行コースを旅行者に紹介するアプリケーションを企画したチームが受賞し、**審査委員特別賞**は、「**EVERYONE**」と題したシネマ、託児所、文化センターが共存する複合エンターテインメント事業を企画したチームが受賞しました。また、4日間を通じたチーム行動を運営スタッフが評価し、選出した**チームワーク賞**、また参加者自らの投票による**人気賞**が表彰され、最後に参加者全員にキャンプ修了証が渡されました。

表彰式の後には、「**友達に一言**」という、参加者同士で寄せ書きを贈り合うプログラ



ムやこの4日間のキャンプの様子をスタッフの撮った写真で振り返ってみる「**写真スライドショー**」で盛り上がりました。

その後、ビュッフェ形式の夕食を兼ねた「**Finale Festival**」が始まり、学生達による歌や踊りなど多彩な特技が次々と披露され、盛り上がりも最高潮に達しました。また、韓国の韓服(ハンボク)および日本の浴衣を各々相手国の学生が着る「**両国伝統衣装ファッションショー**」も行われました。続いて、「**両国伝統遊び体験**」で、韓国のチェギチャギやコンギノリ、日本のケン玉や羽根つきなどで体を動かし、事業発表の緊張からの開放感を満喫していました。

最終日、江戸時代の面影を留める川越の**蔵造りの街並み**へ行き、「**日本文化体験**」を楽しみました。チーム毎に思い思いに街を見学して写真を撮ったり、お土産を選んだりしながら別れ前のひとときの名残を惜しんでいました。

いよいよ両国学生お別れの時が訪れました。両国参加者共に分かれ難く、抱き合っ
て涙を流しながら、再開の日を約束し合う光景が多く見受けられました。こうして4泊5日間のキャンプ全日程を無事に終了し、参加者は皆それぞれの思い出を胸に家路につきました。



以上

